

【地区活動報告】

インターアクト年次大会



地区インターアクト委員長 坂東 剛

7月9日(日)、清教学園に於いて、インターアクト年次大会が開催されました。コロナ禍で開催出来なかった、又は規模縮小で開催の昨年までと打って変わり、本来の姿で行えました。インターアクター101名、顧問15名、ロータリアン26名が、学園内のチャペルに集い午前10時30分開会・点鐘。司会進行は、今春入部の1年生。緊張の様子が、横に座る私にもひしひしと伝わって来ます。(心の中で応援 ガンバレ！)ですが、さすがインターアクターそつなくこなします。地区I.A.C.生徒代表で清教学園I.A.C.会長の「歓迎の言葉」、素晴らしかった。(拍手喝采)

次にお話しされる清教学園校長先生もご満悦の様子。チャペルが立派で広がったので、参加ロータリアンを前方に出てきて頂き一列にならんでもらった。そこで委員長の私からご紹介。インターアクターと真正面、顔を覚えてくれたらありがたい。(ロータリアン少し照れてる!)その後は、恒例のプログラム。各校I.A.C.の活動報告、昼食・休憩、レクリエーションと進みます。我々地区委員と顧問先生は、昼食後の休憩時間に会議を行います。何やらそこに賑やかな声が聞こえて来ました。外を見ると、校庭で楽しそうに遊ぶ子ども達の姿。「良かった。」と思えた瞬間でした。



この子達がこれからどの様に成長するのか、インターアクターとしての使命と責任をどう感じてくれるのか、自問自答しながら時がたち閉会式を迎えます。河内長野ロータリークラブ会長に講評のご挨拶を頂きました。ありがとうございます。



今回ホストとしてお世話下さった清教学園I.A.C.、提唱クラブの河内長野ロータリークラブ、大会会場をご提供下さった清教学園高等学校に感謝申し上げます。年次大会は、年度初めの大事な催し。アクター、顧問、ロータリアン共に緊張感を持って取り組みます。閉会時の達成感が、後に続く年間行事に好影響を与えると考えます。もう今から、次の行事が楽しみです。

世界に友だちを広げながらボランティア精神と国際感覚を身につける

インターアクトクラブは、12~18歳の中学・高校生が、地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員(通称「インターアクター」)との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を養っています。ロータリークラブの支援を受けて設立されるインターアクトクラブでは、友だちと一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけます。

【地区活動報告】

ロータリー財団補助金審査会



地区ロータリー財団委員長 中野 均

7月22日(土)14時～17時ガバナー事務所にて、谷ガバナー、野村ガバナーエレクト(地区社会奉仕委員長)及び国際奉仕委員長臨席のもと、今期地区補助金申請のあった22クラブの事業内容と補助金申請額について審査しました。



各クラブの事業内容等について、全く問題はなく、予定どおり8月にRI財団へ申請します。昨年に続き継続事業のクラブが多くある中、初めての申請が2クラブありました。

続いて、10月24日統一ポリオデーの取り組みについて協議しました。昨年まで、財団委員会として、統一ポリオデーの取り組みは、特にしていませんが、数年前に一度高野山RCの協力を得て「ポリオ根絶法要」を実施以来、今年は、ガバナーと相談して、取り組むこととしました。

他地区の事例を参考に、関空の国内線到着口にポスターを掲示して、「ポリオ根絶を訴えてはどうか」と考え、関空RCに協力をお願いすることにしました。他方、「ラッピングバスを走らせてはどうか」「運送事業の会員企業のトラックの後ろにラッピングして走ってもらう」等、毎年地域を変えて継続して実行できるのでは。と考えています。地区として、大きなことは出来ませんが、会員の皆さまのご理解ご協力をいただき、ポリオ根絶まで事業継続が出来ればと思う次第です。

